

ひとりひとりひかる

きぼう

2011 1/1
第63号

発行：かしの木の会/かしの木の里内 一宮市富田字砂原 2147 : kasisato@f7.dion.ne.jp
 榎の木園 : kasienn@k3.dion.ne.jp 榎の木作業所 : kasisyo@k2.dion.ne.jp
 かしの木 ホームページ [http : www.h3.dion.ne.jp/~kst/](http://www.h3.dion.ne.jp/~kst/)



新年明けまして おめでとうございます

会員の皆様方には息災に、堅固に新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

皆様方のご理解とご尽力により、かしの木の会も厳しい社会情勢の中一步ずつ前進していくことができました。本年も、青年たちが安心して暮らせる地域づくりを目指して、鋭意努力して参りたいと存じます。会員一丸となって益々のご支援をよろしくお願い申し上げます。

63号きぼうの目次

表紙・写真・目次	P. 1
福祉情報コーナー/理事長新年の挨拶	P. 2
地域福祉コーナー/フェスティバル	P. 3
地域福祉コーナー/フェスティバル会計報告	P. 4
施設コーナー/榎木園	P. 5
かしの木の会コーナー①/研修委員会/学習	P. 6
かしの木の会コーナー②/研修委員会/施設見学	P. 7
文芸コーナー/「メノーン」	P. 8
文芸コーナー/「メノーン」	P. 9
お知らせコーナー/予定など	P. 10

地域福祉コーナー

夢を追い続けて

「わたしが先生になったとき」

作者 宮沢 賢治

わたしが 先生になったとき
 自分が真理から目をそむけて
 子どもたちに 本当のことが語れるか
 わたしが 先生になったとき
 自分が未来から目をそむけて
 子どもたちに 明日のことが語れるか
 わたしが 先生になったとき
 自分が理想を持たないで
 子どもたちに どうして夢が語れるか
 わたしが 先生になったとき
 自分に誇りを持たないで
 子どもたちに 胸をはれといえるか
 わたしが 先生になったとき
 自分がスクラムの外にいて
 子どもたちに 仲良くしろといえるか
 わたしが 先生になったとき
 自分のたたかいから目をそむけて
 どうして子どもたちに

勇気を出せといえるか



宮沢賢治肖像

信念に出会えたときの喜びと感動を、今でも

わたしが就職したときから購読していた「教育技術」に掲載されているのを見つけたのが、この詩です。それは、三十数年前のことでしたが、自分が暗

中模索していた教育

鮮明に覚えています。以来、この詩を自分自身の座右の銘として、この心を生かした教育の道を進もうと決意し、詩の作者とされている宮沢賢治についても、国語科の教育実習生や賢治の研究者にもお願いしましたがわかりませんでした。

二十年ほど前、教育雑誌「悠」の巻頭言に別の説もあるとの断りをいれて、「三尺先を歩く人」として引用され、人は自分に持っていないものを、他人に与えることはできないと^{しつけ} 羨の内容でした。わたしは、この詩を（ ）のように入れ替えてこれからも夢を追い続けていきます。

《 例 》

わたしが先生（理事長）になったとき
 子どもたち（檜の木福祉会のみなさん）に
 本当のことが語れるか

（施設長）、（看護師）、（介護士）など、自分の役割や立場を入れ、子どもたちにあてはまる言葉を考えつければ、きっと明るい将来の夢が見つかるでしょう。

わたし自身は、地域福祉、更生保護、交通安全などボランティア活動の夢とともに世界旅行の夢も追い続けています。今年も皆さんとともに夢を追い続けましょう。



社会福祉法人檜の木福祉会
理事長 橋本 浩

地域福祉コーナー

第10回かしの木フェスティバルを終えて

今回は季節外れの台風14号の影響で準備の進行が二転三転しまして大変なところもありましたが、当日は約2000人の方々に参加していただき、無事盛況のうちに終わることができました。ご協力を賜りました関係者皆様、及び参加して下さった方々には心よりお礼申し上げます。



Win Bell Majorettesの皆さん

さて、今回初めてフェスティバルの実行委員長を務めさせていただいた正直な感想ですが、昨年は新型インフルエンザ流行の為、あえなく中止となり、今回は、台風がフェスティバル当日に最接近するとのニュースを聞いたときは、「第10回」は崇られている???と想ったりしました。しかしながら、当日が迫るにつれ天気予報は好転していき、当日は台風一過、晴天で暖かい日でした。

ステージ出演団体の皆さんには、早朝より準備等大変だったと思いますが、出演者の方からも、お客さんからも「楽しかった」との声がたくさん聞えてきました。

また、ボランティアの皆さんについては、180名以上の方々に協力していただきました。何かと行き届かない点があったと思いますが、終了時のアンケートでは、「スタッフが優しかった」「模擬店の販売が楽しかった」「ステージやお店がたくさんあって楽しかった」「いい経験ができた」などの意見が多数あり、とても嬉しく思います。そしてフェスティバルの参加が2回目、3回目以上の方の数も増えてきていることが分かりました。この活動が、この地域で障がいのある方が暮らしていくための支えとなる「人」を創るための良い機会となっているものと確信できました。



華龍の皆さん

フェスティバル終了後、実行委員にて反省会を行いました。各事業所、会員の方、各団体からも実によくのご意見、改善案をいただきました。今後、より良いフェスティバルの運営を行っていくためだけでなく、その他の行事や日頃の活動の中でも皆さんのご意見を活かして檜の木福祉会が益々一致団結していくことが大切です。そして、この地域の福祉がより充実し、福祉サービスを利用する方々の日々の暮らしに反映されることが望まれます。



模擬店販売の様子

最後に、今回、たくさんの方々に参加していただき、たくさんの「笑顔」のお礼いただきました。

ご協力をいただきました方々へ何よりの感謝の気持ちと表すことができますと思います。

本当に有難うございました。

第10回かしの木フェスティバル実行委員長
伊藤 豪



越智章仁さんのピアノ演奏

第10回かしの木フェスティバルありがとう

第10回かしの木フェスティバル(10月31日開催)に、ご支援ご協力ありがとうございました。

☆第10回かしの木フェスティバルのご協力者数

- | | |
|---------------|---------|
| ○ 協賛協力業者 | 36件 |
| ○ ボランティア協力者 | 185名 |
| ○ バザー等出店施設。団体 | 12軒 |
| ○ 当日来場者 | 約2,000名 |



☆第10回かしの木フェスティバル収支報告 (H22.12.01 現在)

支 出

- | | |
|-----------|-----------|
| ○ 事業費 | 910,752 円 |
| ○ 模擬店材料費 | 90,449 円 |
| ○ バザー材料費等 | 762,051 円 |
| ○ 次期繰越金 | 55,261 円 |

収 入

- | | |
|----------|-------------------|
| ○ 協賛金収入 | 372,000 円 (36件) |
| ○ 協力金収入 | 400,000 円 (8件) |
| ○ 模擬店収入 | 219,800 円 (5件) |
| ○ バザー収入 | 762,051 円 (他施設除く) |
| ○ その他の収入 | 64,662 円 (来賓ご祝儀等) |

支出の合計 1,818,513 円

収入の合計 1,818,513 円

なお、次期繰越金は、かしの木の将来必要な事業資金として積み立てさせていただきます。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に・・・

協賛業者等の皆様、ボランティアの皆様、ステージ出演団体等の皆様、バザー出店施設等の皆様、不用品バザーに物品を提供して下さった皆様、テント等資材の無償貸与をして下さった団体の皆様、フリーマーケット参加の皆様、広報活動にご協力を下さった皆様等、献身的なご支援とご協力をいただきまして、大変ありがとうございました。本誌を借りまして厚く御礼を申し上げます。(かしの木の会 事務局)

ボランティアの皆様のコメント (一部抜粋)

充実した時間を過ごせ、フェスティバル自体も楽しかった。

初めての体験で楽しかった。

色々な人たちとのふれあいが出て、初めての体験で楽しかった。

模擬店でのお客さんとの出会いが楽しかった、次回も参加したいです。

障害者と話が出来たのが初めての経験が出来ました。

イベントのバンドが聞けてとても楽しかった、生バンドは初めてでした。

普段出来ない、大声を出してお客さんとの駆け引きが楽しかった。

施設コーナー

榎の木園

榎の木園が新法の新体制に移行して、4年目に入りました。自立支援法の移行にともない、生活のリズムや健康保持などを目的とした生活介護、授産活動を通じて作業の知識、社会性を養うことを目的とした就労継続B型の2つのタイプにて支援を行っています。

具体的に「あおぞら」、「すまいる」、「そよかせ」の3つのグループに分かれ、活動を行っています。実際の活動の内容について以下の通りです。

<あおぞら>

自閉症の方達のグループの部屋で、「ご本人に分かりやすい環境」に心がけ、一人ひとりに合わせた空間作りや写真などを使ったスケジュール表を活用しています。また作業、ウォーキングなどを活動の中に取り入れることで穏やかに1日を過ごしてもらっています。



<すまいる>

個々のリズムを整え、本人のニーズを受け止める活動をしています。1日の予定を伝えていねい
るための「朝の会」については丁寧に行い、そつう
個人との意思疎通をしています。日中活動として作業やウォーキングに行きます。このウォーキングの際、自動販売機でジュースを購入するのですが、作業で稼いだお金を使ってもらいます。そのことで仕事とお金と物の結びつきを確認していただく場面としています。

その他の活動として図書館に行っています。これは休憩時間に自分たちが聴くCDや本を借りにいき、余暇の幅を広げることを目的としています。



<そよかせ>

作業を通じて、本人の力の発掘、社会性のスキルの向上を目指しています。作業については、新規の内職を受けた際、個別に合わせた治具を使い出来そうなものに挑戦して、作業活動の幅を広げてもらっています。また移動販売で地域に出ることで、挨拶や自分の役割の仕事を通して、自信を持ち、社会性を身につけてもらっています。その他の活動として健康維持や余暇の充実から、休憩時間にストレッチや体操、個々に合わせた活動（パズル作成や読書など）も行っています。



また、榎の木園全体の活動として、榎の木園の仲間意識を高める誕生日会、土曜日の活動としてウォーキングやCoCo 壺番屋のボランティアさんのお菓子作り、絵画を通じて日頃の活動とは違う内容を取り入れ、余暇の幅を広げてもらえるよう活動しています。

今後も個別性を高めた内容のものを充実できるよう、スタッフ一同がんばっていきたいと思います。

榎の木園 大川

かしの木の会コーナー①

研修委員会 学習会



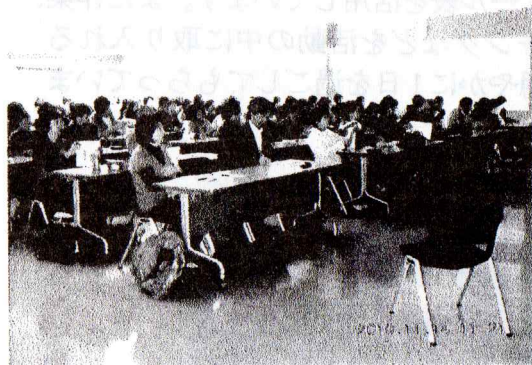
平成22年11月15日(月)午前10時から、かしの木の会の学習会が行われました。日本福祉大学の木全和巳先生を、一宮市尾西生涯学習センターにお招きして、『安心して豊かに暮らせる地域をつくる』をテーマに、2時間ほどお話をいただきました。

母親が倒れた! その日から障がいのあるKさんの生活はどうなるのか! 知的障がいのあるKさんは、38歳。64歳の母親が、脳出血で倒れた。自ら呼んだ救急車で緊急入院。近所の人、作業所の所長さんや職員、相談支援専門員など、さまざまな人たちがAさんを支援するために動きます。

これは、木全先生が『安心して豊に暮らせる地域をつくる。』という著書の中で、書かれていたこと。学習会のお話の中でも、この方のお話を聞くことができました。私は、事前に木全先生のこの本を読んで、また実際にお話を聞いて、本当に驚きました。実は、私自身いつも気になっていたこと、悩んでいたことと重なっていたからです。明日はわが身と想ったりもしました。また、今、私が一番おそれていることかも知れません。

私が、今気になっていることがいくつかあります。

- ・ 娘を30歳までに、一度は親から離すべきなのかどうか。
- ・ いろいろな人の支援を受けさせたほうがいいのかどうか。ホームヘルパーなど・・・
- ・ ショートステイをできるかぎり利用したほうがいいのかどうか。
- ・ いざという時のために、ご近所さんにたのんでおいたほうがいいのか。
- ・ 障がいがあっても、娘はもう大人で、当然親離れ子離れの時期もあるが、それがいつなのか。



今回、木全先生のお話を聞くことができ、今まで悩んできたことでの心の中の霧が、少し晴れてきてぼんやりと前が見えるようになった気がします。この勉強会で、いろいろ勉強させていただきました。また、木全先生のお話を聞く機会があると幸せです。

研修委員会

伊藤 照子

かしの木の会コーナー②

研修委員会

研修委員会から施設見学の報告をさせていただきます。

9月13日岐阜市にある第二いぶきへ見学に行きました。関広見インターを降り車はどんどん山のほうに進み、到着したのは岐阜市内といえども、里山の民家のほとんどない寂しいところでした。

しかしその分、敷地は広く駐車場も大きく施設は立派なものでした。いぶきは親が中心となり共同作業所作りの活動を三年行い、1984年「いぶき共同作業所」を開所、その後「社会福祉法人いぶき」

「いぶきゆめひろ共同作業所」「第二いぶき」等を開所されました。そしてその多くは募金活動により立ち上げられたもので、施設長さんは「市民立」という言葉で表現されました。

私たちは「地域で暮らすには・・・」というテーマで利用者さんがどんなお仕事をされているのか見学しました。

- 1・草木染め・・・やさしいきれいな色のハンドタオル（セントレアでも販売）
＜アイロンかけをされていました＞
- 2・マドレーヌ、いきなり団子・・・品質がよく、おいしい。（JR岐阜駅店

舗・インターネット販売

3・下請け作業

自主製品が主流で、下請け作業のように納期に迫られることがなく、利用者さんのペースを大事にされている。

製品を買っていただいて初めて給料を支払うことができるということで、施設長さんは自らをセールスマンと称され販路の拡大に力を入れてみえました。

ケアホームの建設では当初計画していたところで反対があり、第二いぶきの近くで地域の支えがあり、また募金活動により今年度、三棟立ち上がるそうです。

施設長さんはケアホーム建設にあたり、地域との係り、地域づくりが大切であると話されました。

施設長さんや職員さんの「どんな障害のある方も受け入れて行く」という心意気が伝わってくる施設見学でした。



文芸コーナー

メノン(対話編)

昔から、人間の生き方について人々に教えると同時に、みずからその規範を示した世界の四聖として次の4人の名前が挙げられることがございます。すなわち釈迦、孔子、ソクラテス、キリストです。このうち、釈迦とキリストを人といってすましてよいかどうかということは問題なのです。それらふたりは、とにかく偉大な宗教の開始者でした。孔子とソクラテスは、人の生き方について教えた学者ではありますが、それぞれが東洋と西洋における人間の哲学の始まりであるということになります。このように考えてまいりますと、西洋には確かに厳として存在する哲学の伝統があり、このソクラテスこそが、またこのソクラテスの生きた古代ギリシャこそが、西洋哲学の源泉ではないかと思えます。

さて、「徳とはなにか」というテーマについてのソクラテスのイデア論について少しお話してみたいと思います。プラトンの著対話編「メノン」を読んでいきますと、そこにはソクラテスからプラトンそしてアリストテレスへと引き継がれた「イデア論」(形相と訳されていますが)について述べられています。メノンという青年がおりまして、ソクラテスに「どのようにしてわれわれは、ソクラテスが大事にする徳を獲得することができるか。」とせっかちに問いかけます。そうするとソクラテスはメノンの問いかけに対し、「徳がいったい教えられるものなのか、教えられないものなのかということを考えるよりも先に、確かめておくことがあり、そうしないと問いそのものが意味を失う、と考えて、そもそも君は徳とは何だとおもうのだ。」と尋ねます。徳とは、今日の言葉でいえば、人間が獲得すべき価値といってもよろしいかと思うのですが、「徳とは一体何か言ってみたまえ。」と言うのです。そうすると

青年は、「そんなことはどうして難しいのでしょうか、お答えすることは楽なことです、たとえば男の徳とは国家の仕事処理する能力を持つことですし、友達の味方をして敵を害することだ。女の徳というのは世帯をよく保って、夫に仕えることだし、家をよく整えるようなことです。だから何でもないじゃないですか。」と答えるのです。これは、ソフィストの常套手段です。ソフィストに訓練されると、徳ということは何かという問題が出された場合、一般論を自分の知っている特殊論にすりかえてしまう。これは徳の本質概念を問うているのに、そういうソクラテスの問いかけに対して、メノンは「徳とは何か」という問いを考えるのではなく、かくかくの徳があり、しかじかの徳もある等々自分がたまたま知っていると思いこんでいる徳を列挙するのです。それに対してソクラテスは、「そういうことを私は問うているのではない。かりに私がミツバチの本質について、一体ミツバチとは何かと尋ねた場合に、ミツバチにはいろいろな種類があります、これもミツバチです、あれもミツバチです、と言って知っているかぎりの種類を列挙して答える。しかし、私はミツバチという点では変わりがない、そういうある性質を問うているのだ。」つまり、ミツバチというのは蜜を集めるハチのことだ。こういうふうに答えるのが本当ではないか。だから、いま君がいろいろな徳の種類を挙げたけれども、それでは答えになっていない。私の問いにおいて、私はそういうようにして挙げられた種類のものすべてを通して、一貫して変わらない徳の本質を知りたいのだ。」と、このようにソクラテスは青年に問いかけます。この問いかけは、難しい言葉で申しますと、ある概念の規定を求めたのであって、その概念に属する種々の個物を例示することを求めているのではない、ということになります。このようにソクラテスは問いかけるのです。そうすると、メノンが答えて言うのです。「いったいあなたは徳が全然わかっていないのですか。」と反対に尋ねます。するとソクラテスは、「わかってい

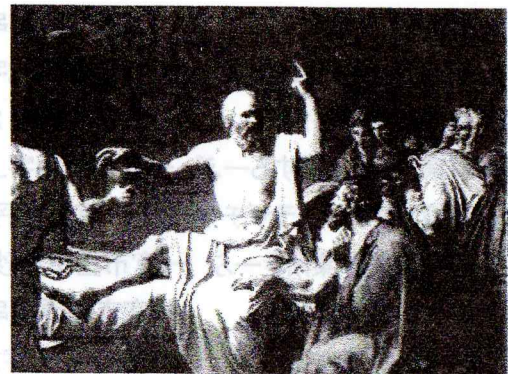
うことをしりたいのだ。」と言う。そうするとメノンが「あなたはまだわかっていないようなものをどうやって探求なさるのですか。幸いにしてあなたそれを探り当てて、何か答えを得たとしても、知りもしないものについて、その答えが正しいということをあなたはどのようにしてわかるのですか。」という質問をします。これは、メノンという青年もただ者ではなく、見事な問いを出したと言わなければなりません。ですから、これを別の言葉で言い直してみると、「未知のものを探求する可能性の根拠は何か。」ということになり、とりもなおさず、それは、「学問的な研究はいかに可能であるか。」という問いに関わってきます。たとえば、自然科学のようなものならば、探求の結果を実験によって検証することができますでしょう。しかし、実験によって検証することのできないものの真否の保証はどうやって探求することができるのか。読者のみなさんも考えてみてください。

さて、ソクラテスは、この問いに答えるために、いままでとはまったく違った次元において語りはじめます。すなわち、むかし自分が聞いた話だというふうにして話をはじめます。これは、いままで或る展望において論理的に話をしてきたのに、急にそのパースペクティブ（展望、視点）を変えて、別の水準で違った論理を語り出すのです。ソクラテスは、神主や巫女から聞いた話なのだが、とことわって、「昔から魂は神のもとにあって、不死であると聞いた。不死の魂は、時に人の身体に入り命をもたらすけれども、そこでその人が死ぬとまたどこか神のもとに帰って行って、また再び誰かの肉体に入るのだ。」と話します。そして、この世のものたると、黄泉の国のもものたるとを問わず、ありとあらゆるいっさいのものを魂は見ている。だから、徳についても、その他いろいろな事柄についても、われわれの魂は、むかし神々の国にあって、そこで本当のことを知っていて、いまわれわれが新しいことを知ったと思うのは、むかし知ったことを思い出すからだ。だから、人生において未知であったものがわかり、あ

あそうだと納得することができるのは、今まで未知であったものが、その背後にある光を示し、むかし魂が神の国にいて見たものを思い出すからだ。この様な視点の転換をミュトス（神話化）と申します。しかし、それは単なる神話化ではない、ひとつの思考実験として仮説を述べているのです。そして、それが人間の体験する現象を手がかりとして思い出されることがあり、その思い出された状態のことをソクラテスはアネムネーシスすなわち想起と申しました。だから、魂が忘れていたアイデアをなんらかのきっかけで想起したときに、ひとは「なるほど」と納得することができる。それゆえに、未知のもの探求も可能になるのだ、ソクラテスはそう言うのです。ちょうど仏教でいう輪廻転生の考え方に類似しているものを、神主や巫女、黄泉の国などを用いて話すのです。しかし、このような方法論は、今日の哲学のなかで、悟性的（感性に与えられる所与を認識へと構成する概念）に行き詰まってどうしたらいいかというときに、想像力すなわちイマジネーションを使え、という考え方も出てきていますが、それと内容上深く関係しています。

ソクラテスは、個々の現象そのものではなくそれらの現象を支えるなにかつまりアイデア（形相）を証明しようと努力してきました。そして、いよいよこの問題をプラトンが引き継ぎ発展させていくこととなります。

紙面の都合により今回のおはなしはここまでです。あしからずご容赦を。



今回も、またJ・L・ダビッドの「ソクラテスの死」の挿し絵です。

「西洋哲学史」より 檜の木園 橋本

お知らせコーナー

【行事予定 1月~3月】

榎の木福祉交流会

2月5日(土)

かしの木音楽会

2月13日(日)

時間: 13:00~15:00

場所: グリーンプラザ

☆ ボランティアさん募集

毎月のレクレーション等の行事と一緒に楽しみたい方! 作業と一緒に手伝ってくださる方! 何でも結構です。先ずはご連絡ください

榎の木福祉会

かしの木の里 担当 武田

榎の木園 担当 伊藤 まで

榎の木作業所 担当 山本

かしの木サポートプラザ 担当 川口まで

自主製品 販売中

榎の木園 ふらっとで、コーヒ販売

榎の木作業所(店舗) クッキー パン 駄菓子
ごみ袋、お花 販売

かしの木の里 ビーズ、革、とんぼ玉、陶芸、5本指靴下、手芸、押し花、木工、石鹸など

お近くにお越しの際は、是非、お立ち寄りご覧ください。

地域の人々に支えられ、地域の人々と共に

かしの木

かしの木の会 事務局 〒494-0018 愛知県一宮市富田字砂原 2147 番地 Tel 0586-63-2111

かしの木の里内 Fax 0586-61-1200

榎の木福祉会

- | | | |
|----------------|------------------------|------------------------------|
| ☆榎の木作業所・どんぐり | 一宮市富田字漆畑 16 番地 | Tel/Fax 0586-61-6055/61-6514 |
| ☆榎の木園 | 一宮市富田字若宮 17 番地 | Tel/Fax 0586-62-8202/62-8253 |
| ☆ステップ | 一宮市明地字上平35番地の1 | Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241 |
| ☆かしの木の里 | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200 |
| ☆かしの木サポートプラザ | 一宮市北丹町 2 番地 | Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188 |
| ☆カフェふらっと | 一宮市萩原町串作字女郎花 1617 番地 8 | Tel 0586-67-5070 |
| ☆園芸センターさいた | 一宮市西五城字山方21-1 | Tel/Fax 0586-62-0039 |
| ☆相談支援ゆんたく | 一宮市北丹町 2 番地 | Tel/Fax 0586-64-5882 |
| ☆就業・生活支援すろーぷ | 一宮市明地字上平 35 番地の 1 | Tel/Fax 0586-68-1207/68-1241 |
| ☆療育サポートプラザチャイブ | 一宮市北丹町 2 番地 | Tel/Fax 0586-28-8288/28-8188 |
| ☆居宅介護事業所きーぷ | 一宮市富田字砂原 2147 番地 | Tel/Fax 0586-63-2111/61-1200 |
| ☆G. H. C はぎわら | 一宮市萩原町串作字女郎花 1616 番地 3 | Tel 0586-67-1787 |
| ☆G. H. C びさい | 一宮市祐久字九百坪97 | Tel 0586-68-6505 |

(はぎわら … みずきの家・あおきの家・はすみの家・ボブラ201 びさい … さつきの家・かえでの家・こぶしの家)